

インダストリアルソリューション

モノづくり産業の生産性向上と 社会生活の質向上に貢献します。

環境面における「カーボンニュートラルなモノづくり」、安心面における「人の可能性を広げる社会構築」を事業の理念と掲げ、モノづくりにおけるお客様の困りごとに真摯に向き合い、お客様にとっての最適な解決策となる「ソリューション・パッケージ」を提供することで、産業・社会の発展に幅広く貢献していきます。



インダストリアルソリューション
事業部長
下川 勝久

事業の強み

グローバル130工場の製造現場で
徹底的に磨き上げてきた生産財

自動車部品生産ラインで磨き上げてきた高品質・高耐久な設備と、ロボットやセンサなどコアなFA機器を用いて、機器単体から工程・モジュール単位へと領域を広げながら、産業・社会の生産性向上に貢献します。

70年以上にわたりデンソー製品を
支えてきたモノづくりのノウハウ

フレキシブルで無駄のないモノづくりのノウハウと自動化技術(リーンのオートメーション)を用いて、労働力不足・カーボンニュートラル・DXといった製造業が直面する深刻な課題を解決します。

デンソーが開発したQRコードを用いた
安心・安全な社会ソリューション

国際基準(ISO/IEC18004)を取得した2000年以上も進化を続けるQRコードと、その読み取り技術を用いて、今後は外部アイデアも取り入れながら、新たな領域・用途に向けた価値を創出します。

2022年の事業戦略

リーンのオートメーションに加え、環境にやさしいモノづくりを事業化し、非車載分野の柱となる事業成長と事業理念の実現(リーンのクリーンなモノづくり)を両立します。

成長戦略	リーンのオートメーションの普及に向けて、お客様にしっかりと寄り添い、前掲きの工程設計まで含めたフレキシブルで無駄のない自動化を提案します。また、仲間と共創するオープンプラットフォームを活用し、自前主義からの脱却で事業をスケール化させます。
研究開発	深刻化するモノづくり産業の課題に対して、カーボンニュートラル・デジタルツイン・人協働ロボットといったリーンのクリーンなモノづくりを実現するための次世代技術開発に注力していきます。また、デンソーの次世代工場コンセプトを広く普及させるために、産官学と連携した活動も加速させます。
モノづくり	インダストリアルソリューション事業部が提供するFA機器・設備の強み(デンソーのグローバル130工場で徹底的に実証・改善し磨き上げたものを、お客様に届けられること)を活かし、常に高品質な生産財を提供し、お客様のニーズにかなう生産性向上を実現します。
ヒトづくり	お客様の困りごとに対してデンソーの保有技術とノウハウを的確に組み合わせ提案することのできるソリューション人材(セールスエンジニア)と、デジタルツインやオープンプラットフォームなど次世代のモノづくりに不可欠なデジタル人材を幅広く育成していきます。

環境・安心戦略の実績

目標	成果
リーンのオートメーションを世の中に認知させる(15社)	リーンのオートメーションスクールを受講していただいた15社のお客様工場内では、身に付けていただいたリーンのオートメーションの考え方・スキルを用いた数々の改善実績が実現。
オープンプラットフォームを共創する仲間を増やす(40社)	デンソーのリーンのオートメーション思想と、それを実現する工場合理化ソリューションのコンセプトについて、共感していただいた47社のパートナー企業とオープンプラットフォームを共創していくことを合意。

“品質”への取り組み

デンソーの車載事業の「品質第一」を支えてきた生産財を事業化するにあたり、インダストリアルソリューション事業部では、お客様が望む設備(準備時間が短く、量産後すぐに安定稼働し、その状態を誰でも維持できる、使いやすい設備)の品質づくりを進めています。現場実証と改善を繰り返し、徹底的に磨き上げたデンソーの生産財で、モノづくり産業全体の生産性向上を牽引します。

戦略の実現に向けた具体的な取り組み

リーンのオートメーションの普及に向けた取り組み

少子高齢化に伴う労働力不足や工場から排出されるCO₂削減への対策として、組立・検査・物流といった労働力の介入が多い領域における「変種変量生産」や「迅速な生産準備」のニーズは日々高まっています。

当社は、リーンのオートメーションを具現化する商品拡充の一環として、DX-CELL*をはじめとする工場合理化ソリューションを開発し、販売を開始しました。さらに2022年度は、人と協働し

ながら生産性を高める新開発ロボット(COBOTTA PRO)もラインナップに加え、より広範囲にわたる改善提案を加速させていきます。

また、デンソーのリーンのオートメーション思想を社会に普及させるために、産官学連携による活動も今後さらに強化します。

* DX-CELL : DXツールを用いた素早く正確な自動化ライン設計と、3rdパーティ含む組み合わせ自在でフレキシブルな変種変量対応を実現するロボット汎用架台パッケージ

<p>COBOTTA PROによる 人協働</p> <ul style="list-style-type: none"> 見て、考えて、動くロボットで、人手に頼るしかなかった作業を自動化 人と協働時はゆっくり作動するため、安全柵不要で省スペース化 	<p>DX-CELLによる 変種変量対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 試作・少量・量産・クローズまで、一貫して対応 ソフト変更のみで、必要な時、必要な場所で活用
---	---

事業を通じた社会課題解決

貢献するSDGs



QRコードの利用データを収集し、地域課題の解決へ

デンソーはこれまで、鉄道・小売/卸売・ホテル業などの多種多様なお客様ニーズに対し、QRコードソリューションを提供してきました。今後は、QRコードで収集したデータをより汎用的に活用することで、新たな領域・用途へのサービス拡大を進めていきます。

一例として、当社は、「魅力ある観光地づくり」を牽引する山形県天童市の企業(株式会社DMC天童温泉・山交バス株式会社)と協力し、観光スポットの周遊性や交通利便性を向上させる天童巡回バス「ぐるり」の実証を進めました。当社のQRコードアプリケーションを導入し、利用者が「いつ、何の目的で、どこへ行っ

たか」の行動履歴データを集約することで、観光客ニーズに合わせた運行効率化の具体的な検討を加速させています。

今後、デンソーでは、QRコードを活用し、飲食・宿泊・購買などのより幅広い行動データを可視化することで、地域活動の活性化に貢献していきます。

